

コミュニティ・スクールとは、「**コミュニティ・スクール協議会**」という話し合いの場が設置されている学校のことです。協議会では、保護者の代表、地域の代表、教職員など様々な立場の人が学校の課題解決や子供たちの学びに向けて話し合っています。(年3～4回程度実施)



動き出しています 地域学校協働活動

地域学校協働活動とは

コミュニティ・スクール協議会で話し合われた内容(目指す子供像に対してどのような資質を育むのかという目標や方向性)を具現化する活動のことです。各校の校長が推薦し、教育委員会が委嘱する地域学校協働活動推進員(CSコーディネーター)が中心となって、様々な地域学校協働活動を実施します。

吾妻学園 地域人材を活用した授業

吾妻学園では、地域人材を活用しながら、子供たちの学びを深める授業づくりを進めています。

例えば、ヤゴの観察をとおした環境教育では、地域の方の支援を受けながら、自然環境に目を向け、生き物と環境のつながりについて理解を深めました。

また、授業では、グラフィックレコーディングの手法を取り入れ、学習内容を視覚的に整理する取組も行っています。子供たちの考えや対話が可視化され、互いの気付きや学びを共有することで、より主体的で協働的な学習が生まれています。



みどりの学園義務教育学校

茅刈りイベント in みどりの

やさと茅葺き屋根保存会、つくば市教育委員会の共催及び谷田部地区区会連合会、谷田部地区活性化協議会、みどりの学園コミュニティ・スクール推進会議の協力で「茅刈りイベントinみどりの」が1月12日(月・祝)に実施されました。

参加者で茅を刈り取り、「集めて束ねる」「茅を丸くする」作業を行いました。参加した子供たちも、自分たちが集めた茅が屋根になることへの達成感や、昔の人がこのような作業を行いながら住環境を整えていたことに気付くなど、様々な学びがありました。



高山学園「かとりだい未来キャンパス」

高山学園コミュニティ・スクール協議会では、子供たちと地域と一緒に学び、つながりを深める機会を創ることを目的に、継続的な話し合いを重ねてきました。その中で、「防災」をテーマに捉え、地域全体で子供たちの安全と成長を支える学びの場として、体験型イベント「かとりだい未来キャンパス」を企画しました。



コミュニティ・スクール協議会の様子

当日は、災害救急車両の見学や煙体験コーナー消火訓練、防災倉庫見学会など実践的な体験活動が行われました。子供たちは楽しみながらも真剣な表情で取り組み、防災に関する知識と技能を体験的に学んでいました。

特に6年生は、校外に出て地域の防災施設を巡る「防災ロゲイニング」に挑戦しました。

「防災ロゲイニング」とは、地図を頼りにチェックポイントを回り得点を競う「ロゲイニング」というスポーツに防災教育の要素を取り入れた活動です。

保護者や地域の方と協力しながらルートを考え、判断し、行動する中で、災害時に必要な協力や冷静な対応の大切さを実感していました。



● それぞれの想い



学校

香取台地区がより一層、地域と学校が連携して子供たちを支えていくために「かとりだい未来キャンパス」を実施したいと考えています。



地域

地域と学校が協力することによって、新しい価値を生み出せるのではと思います、「かとりだい未来キャンパス」を計画しました。



子供たち

学校だけでなく地域の人と一緒に行事を進めていくことで、様々な人とのかわりが生まれました。これからも地域の方々と協力しながら、いろいろなことに挑戦したいです。

世界のあしたが見えるまち。TSUKUBA

問合せ先

つくば市教育局生涯学習推進課

〒305-8555 つくば市研究学園一丁目1番地1

TEL:029-883-1111 (代) 内線 4524 (8:45~16:30)

MAIL:edc077@city.tsukuba.lg.jp



コミュニティ・スクールだよりのバックナンバーはこちらの二次元コードから御覧いただけます▲